



2022年7月29日

各 位

会社名 株式会社エンプラス
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 横田 大輔
(コード番号：6961 東証プライム)
問合せ先 取締役兼経営執行役員コーポレート本部長
藤田 慈也
(TEL. 03-6268-0259)

業績予想の修正に関するお知らせ

最新の業績動向を踏まえ、2022年4月28日に公表しました2023年3月期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,000	百万円 2,000	百万円 1,900	百万円 1,330	円銭 150.86
今回発表予想(B)	19,000	3,400	3,500	2,500	283.57
増減額(B-A)	2,000	1,400	1,600	1,170	
増減率(%)	11.8	70.0	84.2	88.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	16,118	1,654	1,531	910	103.44

(2) 2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 35,000	百万円 4,200	百万円 4,000	百万円 2,800	円銭 317.60
今回発表予想(B)	37,500	6,500	6,500	4,600	521.78
増減額(B-A)	2,500	2,300	2,500	1,800	
増減率(%)	7.1	54.8	62.5	64.3	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期通期)	32,894	3,600	3,451	2,528	287.10

2. 業績予想修正の理由

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想は、円安の影響、および当第1四半期のSemiconductor事業において各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットの販売が好調に推移したことを受け、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加し、前回予想を上回る見込みです。

2023年3月期通期の連結業績予想について、Energy Saving Solution事業においては、世界的な半導体不足や部品の調達難の解消が遅れ、顧客の生産調整が継続する見通しのため前回予想を下回る見込みです。Semiconductor事業においては、半導体市場におけるメモリー用途を中心とした半導体需要の後退という懸念はあるものの、当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は今後も増加傾向が続く見通しのため、前回予想を上回る見込みです。また円安傾向も継続すると見込んでいるため、2023年3月期通期の連結業績予想における、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みです。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上